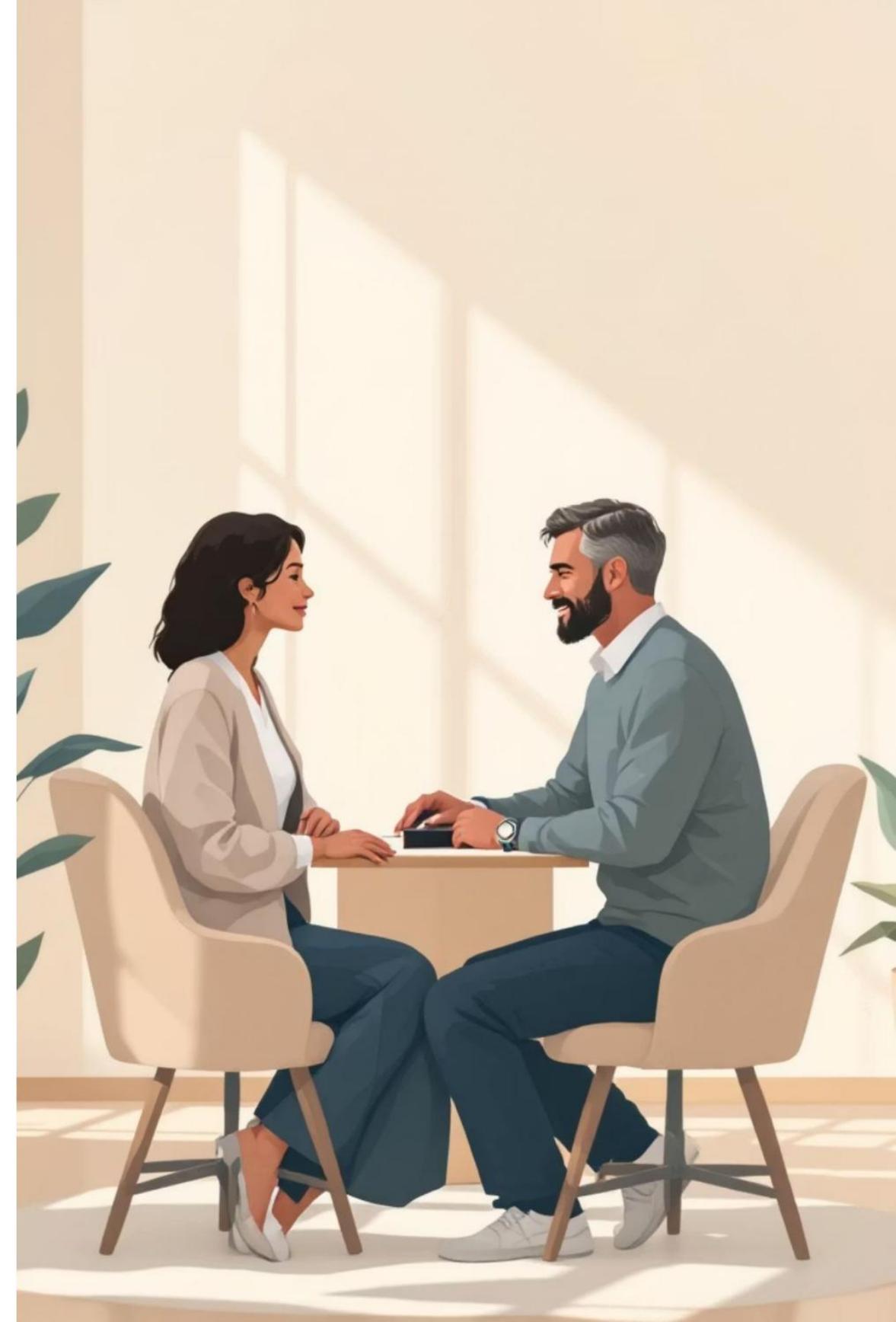


キリスト教の相談者の心と倫理

神と内担者の中で仲裁者としての愛と真理を実践するキリスト教の相談
原則と倫理





キリスト教の相談者の基本的な姿

神との

関係中心

祈る心と謙虚な態度で聖書
価値を追求します。

愛と共感

条件のない愛で私の担い手の物語
共感的に聞きます。

真理と責任を強調

真理に導き、責任者の責任
適切に強調します。

聖霊の導きと見本

人生聖霊の導きに敏感

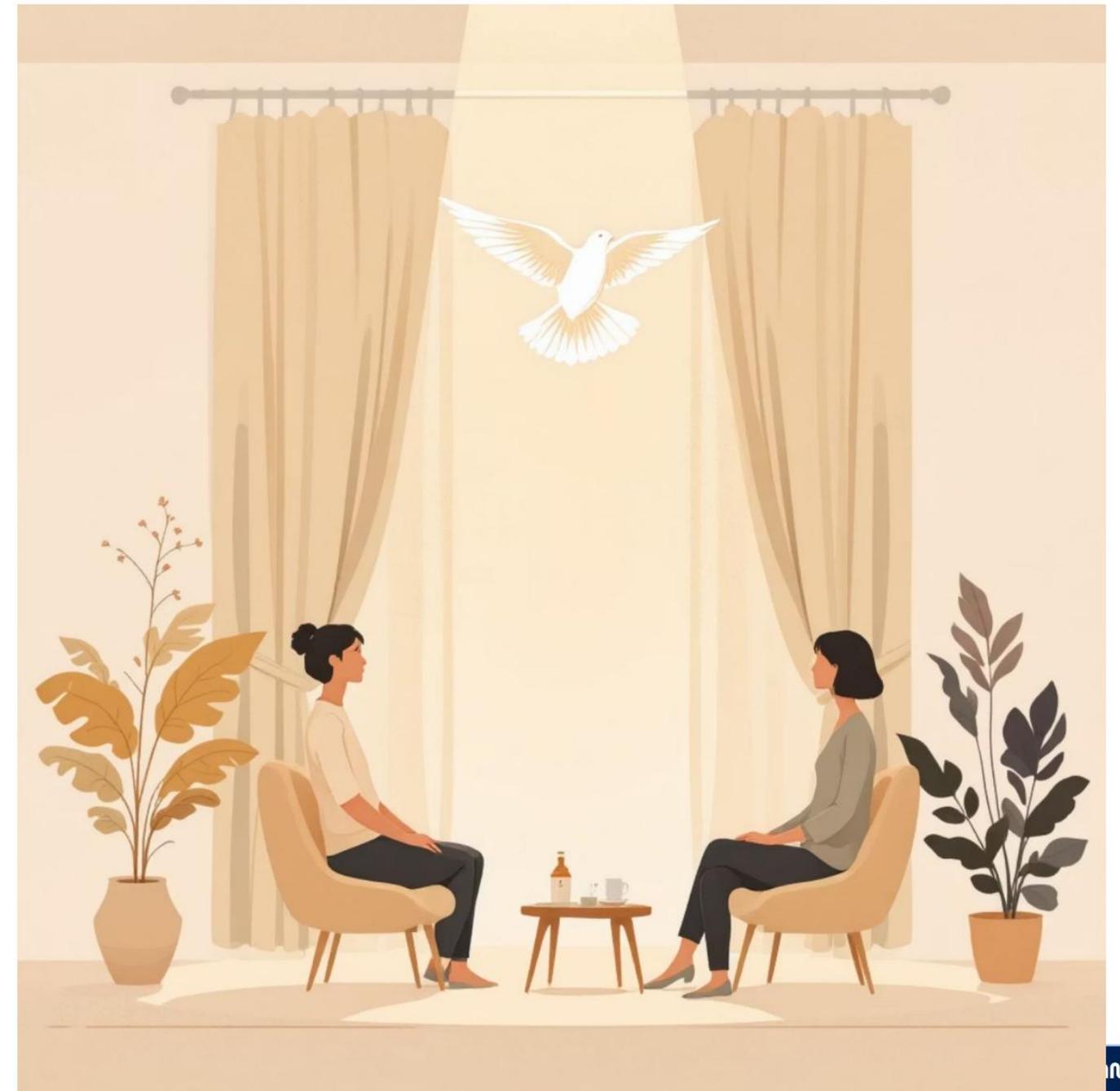
姿勢、聖霊の役割を認め、頼ります

- 精神的な見識を育てます

聖書的カウンセリングの例として

生きる、貴い生活を通して模範を示す

- 継続的な自己洞察を実践する



カウンセリング倫理と専門知識

倫理的態度

内担者の福祉を最優先に
専門的な境界を維持します。

継続的な学習

カウンセリングの技術と聖書の知識を着実に
発展させていきます。

内担者の尊厳性の尊重

誰もが神の形で
作成されたことを認識します。

イエス様の相談者としての模範 イエス様は愛と慈

悲で人々を扱い、真理の御言葉に導き、霊的な癒しと回復をもたらしました。キリスト教の相談者は

イエス様のこの模範に従わなければなりません。

カウンセリング倫理の主な原則



担当者の秘密保障

相談内容を内談者の同意なしに外部に
公開しない（エフェソス4 :15）



担当者の尊重

誰もが神の形で
創造されたので尊厳があります（創世記
1:27）



専門性を維持

自分の賜物と能力を謙虚に使う
神に任せる（コリント第一12 :4-7）

カウンセラーの責任と倫理的境界カウンセラ

一の 責任

すべてのことを主にするように本当です。

誠実に行わなければならない (コロサイ3 :23)

- 内担者の福祉を最優先
- 高麗専門知識と技術の継続

改善

倫理的境界の設定

内担者と個人的、経済的、性的
関係がない

- 関係で純粋さと正直さを維持

(テサロニカ4 :3-6)•専門
的な通りを維持すると同時に

真の関心表現



キリスト教カウンセリングの追加倫理に関する

考慮事項

霊的指導と権威のバランスのとれ

た聖霊の導きに応じて、私の担い手を助けなければなりません（ヨハネ16:13）

祈りと霊的仲裁の使用 内

担者の自由を尊重し、愛で真理を分かち合う（コリント伝書
13:4-6）

公平性と非差別

差別なくすべての人を愛するように命じる（ヤコブ2 :1-9）

神の言葉を使う

神の言葉は教訓と叱責、正しいことに有益です
（テモテ 3:16）



カウンセリング倫理の実

用化



秘密保障の問題

内担者が自殺衝動を感じると告白した
状況では適切な措置を講じる必要があります
します。



相談者の限界認識

精神科的支援が必要な内担者
会ったときは専門家に依頼する必要があります
します。



信仰的強制防止

内担者が異なる神学的視点を持つとき
尊重して強制しないでください。

結論

キリスト教のカウンセリング倫理は、私のキャリアの福祉を最優先し、聖書の価値と
カウンセリングの専門知識を調和させるために目的があります。

カウンセラーは神の前での謙虚さと私の相談者への愛で倫理的態度を
維持し、聖霊の導きに応じて相談を行う必要があります。

